報道関係各位

令和７年７月17日

# 「農山漁村」インパクト創出ソリューションを選定！
# マッチング希望の自治体を募集します！

## ～農山漁村の課題解決に向けた取組を全国に展開～

農山漁村の課題解決を通じて、社会的・環境的な変化や効果（インパクト）を創出し得る取組（「農山漁村」インパクト創出ソリューション）を選定し、7 月 16 日の「『農山漁村』経済・生活環境創生プラットフォーム第2回シンポジウム」にて発表しました。
選定された取組が各地で実装されるよう、農林水産省や選定事務局による自治体等とのマッチング支援及び事業化に向けた伴走支援を通じて、当該「農山漁村」インパクト創出ソリューションの実装と、それによるインパクトの創出を図ります。

## 1. 概要

農林水産省及び選定事務局では、令和７年５月 20 日から６月 23 日まで、農山漁村の課題解決を通じて、社会的・環境的な変化や効果（インパクト）を創出し得る「農山漁村」インパクト創出ソリューション（以下「インパクト・ソリューション」という。）の募集を行いました。選定事務局（株式会社 Ridilover）及び有識者から構成される選定委員会による審査の結果、11 社による取組を選定し、伴走支援を行っていくことを決定しました。

今後、伴走支援期間（令和７年度末まで）において、１インパクト・ソリューションにつき３地域のマッチングを目標に、全国的な事業展開を目指します。

## 2. 選定企業及びインパクト・ソリューション一覧

選定されたインパクト・ソリューションは次のとおりです。

| 企業名 | インパクト・ソリューション名 |
|---|---|
| アクセリア株式会社 | ビニールハウス内温度の遠隔でのリアルタイム監視を可能にする『TempGazer』 |
| 株式会社雨風太陽 | ポケマルおやこ地方留学 |
| EF Polymer 株式会社 | 100%有機、EF ポリマーで未来を潤す！ |
| NTT スマーコネクト株式会社 | ライブコマースによる農山漁村支援<br>～地域の魅力を“生配信”でお届け～ |
| サグリ株式会社 | 衛星データ・デジタル地図技術による『農地の見える化』 |
| 株式会社三祐コンサルタンツ | 地域農業×外国人材の担い手循環モデル |
| 株式会社タイミー | 一次産業の人手不足を解消するスポットワークサービス『タイミー』 |
| 株式会社バカン | 防災や平時の地域運営にフェーズフリーに活用可能なサービス |
| 株式会社パソナ農援隊 | 従業員のメンタルヘルス改善×農業支援プログラム |
| 株式会社ボーダレス・ジャパン | 起業型地域おこし協力隊制度を用いた地域課題解決事業の創出 |
| 楽天グループ株式会社 | 既存の郵便網等と連携した「ネットスーパー」による買い物支援 |

選定されたインパクト・ソリューションについて、次の URL で詳しく紹介しています。

・選定インパクト・ソリューション掲載ページ（外部リンク）
https://business.form-mailer.jp/lp/8fdcde54298771

## 3. 小泉農林水産大臣からのコメント

**「農山漁村」インパクト創出ソリューション実装プログラムの開始を受けて**

農林水産業の生産拠点となる地域である農山漁村では、人口減少・高齢化が進行しており、我が国の食料安全保障の確保の観点からも、これらの産業を、生産性が高く、若者が参入したくなる、魅力的な、次世代につながる産業としていくことが重要です。このような中で、農林水産業界及び農山漁村全体に前向きな変化をもたらすには、今まで以上に企業の関与が不可欠であると考えています。

今回新設した「農山漁村」インパクト創出ソリューション実装プログラムは、このような現状に対して正面から取り組んでいる企業の事業を選定させていただきました。

これらの取組が各地で事業化され、展開されていくことで、儲かる農林水産業、農林水産業の生産性の向上、若者等の多様な者の関わり促進等が実現されるとともに、社会・環境等に良い影響を与えるインパクトが創出され、農山漁村と産業界がwin-winの関係を築き、双方の発展につながることを期待しています。

農林水産大臣 小泉進次郎

## 4. マッチング希望自治体の募集について

7月17日（木曜日）より、選定されたインパクト・ソリューションの活用を希望する自治体の募集を開始します。

なお、本事業でのマッチングとは、来年度以降の共創に向けた資金調達方法も含めた、取組の方向性が決定されている状態とします。

【マッチングまでの手順】

①活用希望フォームへの回答（締切：9月1日（月曜日））

＜活用希望フォーム（外部リンク）＞

https://business.form-mailer.jp/fms/8fdcde54298771

※締切後に活用希望のある自治体は、次のメールアドレスにご連絡いただきますようお願いいたします。

インパクト・ソリューション選定事務局

メールアドレス： r7nousui-sentei★ridilover.jp（送付の際には★を＠に置

き換えてください）

②選定事務局との面談による課題整理

※応募のあった自治体から順次面談を実施となります。

③（選定企業が希望した場合）初回面談設置

※自治体が活用を希望する場合でも、選定企業の意向によっては面談が行われない場合がございます。

④実装に向けた具体的な協議の開始

また、活用を希望する自治体を対象としたオンライン説明会を８月６日（水曜日）に開催します。説明会の出席にあたっては、事前の参加申し込みが必要となります。なお、当該説明会への出席については、回答にあたっての必須要件ではございません。

【オンライン説明会実施日時】

８月６日(水曜日)14 時 00 分から 15 時 00 分まで

＜説明会申し込みフォーム（外部リンク）＞

https://forms.office.com/r/JqaKyTy6Fm

※アーカイブ配信についても予定されており、視聴 URL は選定インパクト・ソリューション掲載ページに記載予定です。

## 5. 関連サイト

・株式会社 Ridilover プレスリリース（外部リンク）

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000144.000046389.html

なお、プログラム募集開始時のプレスリリースは次のリンクからご確認いただけます。

・農村インパクト創出ソリューション実装プログラムを開始します！（令和７年５月 20 日農林水産省プレスリリース）

https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/250520.html

・PR TIMES（令和７年５月 20 日株式会社 Ridilover プレスリリース）（外部リンク）

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000138.000046389.html

## お問合せ先

農村振興局農村政策部農村計画課農村活性化推進室
担当者：安居、井上、刀井、橋本、原島
代表：03-3502-8111（内線 5444）
ダイヤルイン：03-6744-2141